

# 米沢興譲館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

## SSH推進委員会 代表挨拶

夢と志をカタチに

校長 曾根伸之

この度、多くの皆様方のご支援とご指導により第Ⅳ期の採択を頂くことができました。

研究開発課題には、「未来に果敢に挑戦する科学技術系人材の育成～米沢興譲館STEAM教育の実践・発展とその成果の普及～」を掲げました。「FS」への「デザイン思考」「論理思考フレームワーク」の導入、新学校設定科目「DS」などカリキュラムの深化を図るとともに、高等教育機関やSSH校の他、地域の各校や小中学生、地域の皆様との協働の場を広げる取組も行います。

その中で、生徒諸君には、社会課題を「自分ごと」として捉える豊かな知性と人間性を身につけてほしいと思います。SDGsに代表される諸々の「社会課題」解決に向け実践的な思考力を鍛え、今の自分の延長戦上に、次代を担う自分の姿を明確に意識した高校生であってほしいからです。それは、『興譲の精神』の第一義である「自他を尊重」し「世のために尽くす」ことでもあります。

さあ、あなたの夢と志を少しずつカタチにしていきましょう。



## スーパーサイエンスリサーチSSR徒弟制を実施して

4/20、4/27、5/11と3回にわたり、SSR徒弟制を実施しました。1,2回目は「問い立てワーク」を各コースごとに2・3年生合同で行い、3回目は3年生がテーマ設定の経緯、手法、考察など探究を振り返って上手くいったことや課題を2年生に伝えました。3年生はSSRを振り返りながら2年生に自らの取り組みを伝えることでキャリア意識の涵養を図り、2年生はSSRに対する具体的な方策を学ぶことで、今後の動機付けを図りました。

智の継承

2年 男子

真の探究は興味を始点とし、好奇心によってより深いものとなる。こんな言葉をどこかで聞いたことがある。今回この文章を書くにあたりふと思い出した言葉だ。この考えにのっとるならば、2年次、それも最序盤でいよいよ本格的にSSRが始まるという時に最も大切になってくるのが興味を持つことだと思う。しかし、学業に日々励む我々にとって学問の深いところに触れ、興味を高める機会を得るのは安易ではない。そこで最も効果的になってくるのが今回の徒弟制だ。今回先輩に見せていただいたものは、最も洗練された形の、一年間の探究の成果だ。普段我々が思考することの一步先まで踏み込んだ研究の数々に驚きを持った人も少なくないだろう。僕も大多数の人とともに内容の凄みに驚くとともに、学問に対する意欲が一層高まった気がした。つまり今回の徒弟制の活動は、我々が努力せずとも得られる学問に対する興味を高める機会だったのである。しかし、まだそれではやや受動的なように思える。最初に述べた通り、より深い探究活動にするためには高い好奇心が必要なのである。全員共通で興味を得られる機会があったとするならば、探究の成果の大きさは我々の好奇心の大きさに依存するのだ。先輩方から受け継いだ種火を大きくするのはほかならぬ我々の好奇心なのである。



# 178

山形県立米沢興譲館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email [yonekojo@pref-yamagata.ed.jp](mailto:yonekojo@pref-yamagata.ed.jp)  
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

